

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社A. Cホールディングス
 コード番号 1783 URL <http://www.ac-holdings.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 武司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役情報管理責任者 (氏名) 竹澤 清

TEL 03-5473-7722

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	885	114.8	△41	—	△246	—	△248	—
23年9月期第1四半期	770	—	△91	—	△152	—	286	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △248百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 264百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△6.14	—
23年9月期第1四半期	7.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	8,916	7,754	87.0
23年9月期	9,141	8,002	87.5

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 7,754百万円 23年9月期 8,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	—	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,596	22.4	△161	—	△340	—	△347	—	△8.58
通期	3,263	13.2	△206	—	△356	—	△369	—	△9.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、【添付資料】P. 3「当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	42,442,851 株	23年9月期	42,442,851 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	2,000,695 株	23年9月期	2,000,695 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	40,442,156 株	23年9月期1Q	40,442,156 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おください。

業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により経済が甚大な影響を受けて消費活動が大きく落ち込み景気動向は不透明さを増しております。

こうした経済状況のもとで、当社グループの中核事業であるゴルフ・リゾート事業では、天候不順や東日本大震災の影響を被ったものの、売上高に対する影響は僅少でありました。

経常損益に関しましては、営業外費用で持分法による投資損失の計上を2億14百万円計上いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8億85百万円（前年同四半期売上高7億70百万円）、営業損失41百万円（前年同四半期営業損失91百万円）、経常損失2億46百万円（前年同四半期経常損失1億52百万円）、四半期純損失2億48百万円（前年同四半期 四半期純利益2億86百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

①ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、天候不順や東日本大震災の影響は想定範囲内であり、業績は計画通り推移しております。この結果、売上高3億72百万円（前年同四半期売上高3億77百万円）、営業損失41百万円（前年同四半期営業損失95百万円）となりました。

②ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては貸金業からの撤退及びリース業の見直し等により、売上高2百万円（前年同半期売上高3百万円）、営業損失0百万円（前年同四半期営業利益2百万円）となりました。

③建設事業

建設事業におきましては、工事施工が順調に推移しましたが、一方原価率が増加しました。この結果、売上高4億94百万円（前年同四半期売上高3億73百万円）、営業損失3百万円（前年同四半期営業損失0百万円）となりました。

④リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては公示地価やオフィス賃貸の低迷により、厳しい状況を迎えております。その結果、売上高17百万円（前年同四半期売上高17百万円）、営業利益6百万円（前年同四半期営業利益2百万円）となりました。

なお、前連結会計年度の9月をもってインベストメント事業から撤退しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少し、89億16百万円となりました。流動資産は4百万円増加し39億22百万円、固定資産は2億29百万円減少し49億94百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、流動資産の「その他」が81百万円、受取手形・完成工事未収入金等が50百万円増加した一方、現金及び預金が1億19百万円減少したことによります。

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少9百万円、無形固定資産の増加2百万円、及び投資その他の資産の減少2億22百万円であります。そのうち、投資その他の資産減少の主な要因は、持分法による投資損失等により関係会社株式が2億16百万円減少したことによります。

なお、破産更生債権等19億23百万円を同額の貸倒引当金に充当することにより償却しました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて23百万円増加し、11億62百万円となりました。流動負債では仕入債務が72百万円増加し、固定負債では退職給付引当金が8百万円減少しました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億48百万円減少し、77億54百万円となりました。純資産減少の主な要因は、四半期純損失による利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災以降、わが国経済は厳しい状況が続いています。このような状況のなかで、当社グループもコスト削減等々の経営努力を重ね、収益改善に向けて鋭意努力に励んでまいりました。しかしながら、当社の関係会社（株式会社テークスグループ）の平成24年2月期第3四半期決算に基づき、持分法による投資損失を計上したため、平成23年11月15日付にて公表しました業績予想を修正いたしております。

1. 平成24年9月期第2四半期累計期間（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期四半期純利益	1株当り四半期純利益
前回発表予想	1,664	△177	△146	△153	△3円79銭
今回発表予想	1,596	△161	△340	△347	△8円58銭
増減額	△68	16	△194	△194	—
増減率（%）	△4.09%	—	—	—	—
（ご参考） 平成23年9月期第2 四半期累計期間実績	1,304	△345	△227	219	5円42銭

2. 平成24年9月期通期（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期四半期純利益	1株当り四半期純利益
前回発表予想	3,331	△222	△162	△175	△4円33銭
今回発表予想	3,263	△206	△356	△369	△9円12銭
増減額	△68	16	△194	△194	—
増減率（%）	△2.04%	—	—	—	—
（ご参考） 平成23年9月期実績	2,882	△564	△512	398	9円84銭

（注）今回の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績につきましてはこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、詳細は平成24年2月9日公表の「営業外損失（連結）の発生及び平成24年9月期第2四半期累計期間（連結）・通期（連結）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間におきまして、連結子会社でありました株式会社姫路相生カントリークラブは、平成23年10月1日に同じく連結子会社である株式会社A.Cインターナショナルに吸収合併されたため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

これにより連結子会社の数は4社となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,864,023	2,744,589
受取手形・完成工事未収入金等	419,728	470,420
商品	13,234	11,378
材料貯蔵品	14,074	10,885
販売用不動産	534,563	534,563
その他	98,948	180,748
貸倒引当金	△27,168	△30,403
流動資産合計	3,917,404	3,922,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	762,406	752,796
機械装置及び運搬具（純額）	45,224	43,987
工具、器具及び備品（純額）	11,901	12,831
土地	3,009,739	3,009,739
有形固定資産合計	3,829,271	3,819,355
無形固定資産		
その他	8,108	10,340
無形固定資産合計	8,108	10,340
投資その他の資産		
関係会社株式	1,048,919	832,852
長期貸付金	383,550	373,950
破産更生債権等	1,923,918	3
その他	566,686	138,650
貸倒引当金	△2,536,363	△181,015
投資その他の資産合計	1,386,710	1,164,440
固定資産合計	5,224,089	4,994,137
資産合計	9,141,494	8,916,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	302,920	375,557
未払法人税等	8,808	6,614
賞与引当金	4,186	1,711
ポイント引当金	21,012	19,477
その他	260,427	225,779
流動負債合計	597,354	629,140
固定負債		
退職給付引当金	204,090	196,047
役員退職慰労引当金	6,340	6,531
資産除去債務	1,988	1,994
その他	329,126	328,593
固定負債合計	541,546	533,166
負債合計	1,138,900	1,162,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	5,650,811
利益剰余金	△482,408	△730,811
自己株式	△604,076	△604,076
株主資本合計	8,064,325	7,815,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,626	△27,004
土地再評価差額金	△6,153	—
為替換算調整勘定	△26,953	△34,906
その他の包括利益累計額合計	△61,732	△61,910
純資産合計	8,002,593	7,754,012
負債純資産合計	9,141,494	8,916,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	770,976	885,244
売上原価	381,173	507,253
売上総利益	389,803	377,991
販売費及び一般管理費	481,144	419,348
営業損失(△)	△91,341	△41,357
営業外収益		
受取利息	4,895	2,882
受取給付金	4,628	1,815
投資不動産賃貸料	6,567	9,199
その他	7,925	8,224
営業外収益合計	24,016	22,120
営業外費用		
持分法による投資損失	79,919	214,268
その他	5,363	13,170
営業外費用合計	85,282	227,439
経常損失(△)	△152,607	△246,676
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16,100	—
持分法過年度修正益	427,165	—
前期損益修正益	103	—
その他	5,046	—
特別利益合計	448,415	—
特別損失		
前期損益修正損	18	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	385	—
固定資産除売却損	—	0
その他	2,397	—
特別損失合計	2,801	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	293,007	△246,676
法人税、住民税及び事業税	6,373	1,726
法人税等合計	6,373	1,726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	286,633	△248,402

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	286,633	△248,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,077	1,619
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,302	△1,798
その他の包括利益合計	△22,224	△178
四半期包括利益	264,409	△248,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264,409	△248,580

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	インベスト メント事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	377,920	2,396	-	373,165	17,494	770,976	-	770,976
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	1,571	-	-	-	1,571	△1,571	-
計	377,920	3,967	-	373,165	17,494	772,547	△1,571	770,976
セグメント利益又は 損失(△)	△95,717	2,058	-	△736	2,883	△91,511	170	△91,341

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナン ス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	372,133	1,439	494,190	17,481	885,244	-	885,244
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	989	-	-	989	△989	-
計	372,133	2,428	494,190	17,481	886,234	△989	885,244
セグメント利益又は損失 (△)	△41,927	△947	△3,919	6,218	△40,576	△781	△41,357

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の9月をもって、インベストメント事業から撤退しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。